

一般社団法人 日本創傷外科学会

専門医試験

～筆記試験過去問題集～

第 11 回専門医試験

問題 1) 三叉神経が支配していない筋肉を選べ。

1. 咬筋
2. 側頭筋
3. 大頬骨筋
4. 内側翼突筋
5. 外側翼突筋

問題 2) 頭頸部について正しいのはどれか。

1. 顔面動脈は顎動脈の枝である
2. 側頭筋は頬骨弓の直上を走行する
3. 眼窩下神経は眼窩内壁の神経溝を走行する
4. 顔面動脈の終枝と眼動脈の終枝は吻合している
5. 浅側頭動脈は側頭部では通常、側頭筋膜下を走行する

問題 3) 頭蓋・頭皮再建術について正しいのはどれか。

1. 自家骨であれば感染・露出のリスクはない
2. 不十分な前頭洞の処理は後日の感染のリスクとなる
3. ハイドロキシアパタイトブロックは、やがて骨に置換される
4. 人工骨・人工硬膜の同時感染例では人工硬膜の抜去は不要である
5. 骨固定のプレートが感染してもプレート抜去しなくても多くは創閉鎖がえられる

問題 4) 重症熱傷について正しいのはどれか。

1. 早期の経腸栄養は推奨される
2. 受傷直後から意識障害を認めることが多い
3. リフィリング期は受傷後 12～24 時間に見られる
4. ショック期には維持輸液の大量投与が必要である
5. 毛細血管透過性亢進は受傷直後～6 時間で最大となる

問題 5) 気道熱傷について正しいのはどれか。

1. 呼吸障害は受傷直後から生じる
2. 診断には胸部 X 線写真が有用である
3. 上気道型より下気道型では治療が遷延する
4. 気道熱傷がなければ上気道狭窄は起こらない
5. 気管内挿管は呼吸障害を生じてから考慮する

問題 6) デブリードマンについて正しいのはどれか。

1. Fascial excision は DDB に対して行われる
2. Tangential excision は DB に対して行われる
3. Sequential excision は DB に対して行われる
4. 手背熱傷には fascial excision が良い適応である
5. Fascial excision は sequential excision より整容的に優れる

問題 7) 足潰瘍感染で骨髓炎を疑う所見でないものはどれか。

1. ソーセージ趾
2. 足部単純 X 線写真での骨破壊像
3. MRI で T1 強調像 ; 高信号、STIR 像 ; 低信号
4. 炎症マーカー (WBC, CRP, プロカルシトニン) の上昇
5. ゾンデ法 (ゾンデを潰瘍に入れて骨が触れる) 陽性

問題 8) 足潰瘍感染のデブリードマンを行う際、誤りはどれか。

1. コンパートメントを考慮したデブリードマンを行う
2. デブリードマンの際に骨や深部からの培養を提出する
3. 壊死性筋膜炎、ガス壊疽では緊急のデブリードマンが必要になる
4. デブリードマン後は浸出液の漏出を防ぐために閉鎖創とする
5. 虚血がある場合は、可能なら末梢血行再建後にデブリードマンを行う

問題 9) 慢性創傷について正しいのはどれか。

1. 慢性創傷の多くは上肢に生じる
2. TIME コンセプトとは褥瘡の重症度分類である
3. バイオフィルムは石鹼で洗浄すれば除去できる
4. 一般的に 8 週間以上治癒しないものを慢性創傷と定義する
5. 世界的に非外傷性下肢切断の最大の原因は糖尿病性足潰瘍である

問題 10) ケロイドの電子線療法について誤りはどれか。

1. ケロイドの再発率を下げる
2. 総線量は 10~20Gy が一般的である
3. 1 回の照射量は胸部 CT の線量より多い
4. 小児は成人の 1/2 の総線量が適している
5. 設定により体表面近くに線量を集中できる

問題 11) Z 形成術について正しいのはどれか。

1. 線状拘縮には効果がない
2. 瘢痕内では延長効果が得られやすい
3. W 形成術に比較して延長効果が小さい
4. 皮弁先端の血流障害を起こすことはない
5. 皮弁の角度が 60 度の時に延長率が最大である

問題 12) ケロイド、肥厚性瘢痕の圧迫療法の作用について誤りはどれか。

1. 肥厚や隆起が抑制される
2. 線維芽細胞が誘導される
3. 局所の安静が保持される
4. 外部の刺激から保護される
5. 虚血により局所の細胞活性が低下する

問題 13) DESIGN-R[®]2020 の評価項目として誤りはどれか。

1. 皮膚の浸軟
2. 浸出液の量
3. 潰瘍の深さ
4. 臨界的定着疑い
5. 深部損傷褥瘡 (DTI) 疑い

問題 14) 褥瘡に対する外用剤の使用法で正しいのはどれか。

1. 上皮化促進のためプロメラインを使用した
2. 創感染が疑われたためトラフェルミンを使用した
3. 浸出液が多いのでスルファジアジン銀を使用した
4. 壊死組織を認めたためデキストラノマーを使用した
5. 浸出液が少ないのでカデキソマー・ヨウ素を使用した

問題 15) 褥瘡の予防・管理で正しいのはどれか。

1. 除圧のため円坐を用いた
2. 骨突出部に対してマッサージを行った
3. 車いす患者に 2 時間ごとの座位姿勢変換を指示した
4. 体圧分散マットレスを使用しているため 1 日 3 回の体位変換を行った
5. 関節拘縮のある患者にクッションを用いてポジショニングを行った